



日本動物実験代替法学会

第30回大会 化粧品業界など690人集う

は11月23日(木)～25日(土)、東京・南蒲田の大田区産業プラザ・PIOにおいて、第30回大会(小島肇大会長)国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部第二室室長を開催した。

「レギュラトリーサイエンスと3Rs」をメインテーマとした今大会では化粧品業界をはじめ、産官学の研究者を中心におよそ690人が参加、シンポジウムや講演、パネルディスカッションを通じて「3Rs(Replacement・動物に對する苦痛軽減)」に関する実用的な問題に活発な議論が行われた。このほか商業展示やポスター発表も行われ、ポ

スター発表については、参加

加学会員の投票により35歳以下の発表者による優秀演題が選考され表彰された。

日本動物実験代替法学会は、動物実験の適切な施行の国際原則である「3Rs」の推進と普及を目的とした学術団体。EUでは2013年3月より化粧品開発の際の動物実験が禁止され、また、化学物質についても欧州の化学物質に関する規則「REACH」や米国の改正有害物質規制法「TSCA」に動物実験代替法の利用が明記されるなど、世界的に実験動物を用いない試験法を利用せざるを得ない状況になっており、国際的に「3Rs」を基本とした試験法の見直しが進んでいるという。

次回の第31回大会は2018年11月23日(金)～25日(日)に熊本の崇城大学(熊本市)で開催予定。